

# 吉野川市学校再編計画（素案）について

## 川田・美郷地区対象の説明会の主な意見等

川田・美郷地区（川田・川田中・川田西・種野小学校区）では、平成26年4月のPTA総会の日に説明会を開催していただき、5月から6月にかけて就学前（0～5歳）の子どもを持つ保護者の皆様を対象に、6月から7月にかけて地域の皆様を対象にした説明会を開催いたしました。川田・美郷地区を対象にした説明会において、皆様からいただいた主なご意見・ご質問を取りまとめましたので、ご紹介いたします。

### PTA説明会での主なご意見・ご質問

#### 川田小学校

- 再編した新しい学校がスタートする際、制服などは統一すると思うが、在学している児童には補助はあるのか。
- 私の子どもがいる学年は7人だが、学校を再編すると何十人という同級生ができることになる。子どもたちはすぐに馴染むことができるのか心配である。
- スクールバスを運行するということだが、台風などの大雨時にもスクールバスを運行してくれるのか。
- 各学校に学校林があると思うので、新築する校舎に活用してはどうか。

#### 川田中小学校

- 今年度のように5学級になった場合には、教頭先生が担任することにより複式学級を解消しているが、平成29年度推計のように4学級になった場合にはどうなるのか。複式学級を解消するために学校再編を進めているので、再編するまでの期間は複式学級を解消してほしい。

#### 川田西小学校

- 川田・美郷地区の4小学校が再編して新しくできる小学校は、何故、新築するのか。児童数が少なく、ほとんどが1学年10人以下のため、遊ぶ相手にも困っている状況である。早く学校再編を進めてほしい。
- 川田西小学校の児童は、学校が終わると西川田福祉センターに遊びに行っているが、学校を再編すると、西川田福祉センターの運営はどうなるのか。
- 学校再編に踏み切れないのは、反対意見があるからなのか。

#### 種野小学校

- 小学校の保護者のような関係者だけでなく、お世話になっている地元の方々の意見も取り入れていただけるといい。
- 学校を再編した場合、学校全体の規模もあるが、1学級当たりの人数も増えるので、児童全員がまんべんなく授業について行くことができるのか心配である。

## 就学前の子どもを持つ保護者説明会での主なご意見・ご質問

### 川田小学校区を対象とした説明会

- 説明会に参加していない人は、再編に反対なのか、再編を進めてほしいのか、関心がないのか分からない。説明会の参加人数が少ない状況では、本当に、学校再編を早く進めることができるのか心配である。
- これだけ児童数が減ってきているので、学校再編を早く進めてくれた方が、子どもたちの教育環境にとっても良いことである。
- 2月の説明会には年配の方も来ていたが、子どもがいる保護者とは考え方が違っていた。地域から学校がなくなるから反対と言っていたが、それよりも優先してほしいのは、将来を担う子どもたちにとって何が良いことなのかを考えなければいけない。学校は子どもたちのためにある。
- 保護者の中には、山瀬小学校の方が児童数が多いので、山瀬小学校区に変わることを考えている人もいる。そうならないように早く学校再編を進めてほしい。

### 川田中小学校区を対象とした説明会

- 新しい場所に新しい学校ができるのであれば納得すると思うが、川田中小学校の場所に新しい学校ができるので、学校名や校歌を残してほしいという意見が多い。しかし、それぞれの学校が集まって一つの新しい学校を作ることなので、学校名や校歌を新しくすることも分かる。
- 川田中小学校は制服がないので、新しい学校がスタートする時に新しい制服を作るとなれば、5年生や6年生も新しく作らなければいけないのか。
- 川田中小学校の子ども数は今後も減っていくように思うので、周りの保護者の方たちも心配している。
- 子ども的人数が少なくなってくると、地域の元気がなくなってくると、子どもの頃から自分の故郷が大切だと思えるような教育をしていくことが大事で、この地域で育って良かったと思えるような学校作りをしてほしいと思う。そのためには保護者一人一人の取組も大事だと思う。

### 川田西小学校区を対象とした説明会

- 児童数を見ていると、以前から早く学校を再編してほしいと思っていたので、この学校再編計画の取組自体が遅かったと思う。できれば早急に学校を再編してほしい。
- 歴史のある学校なので寂しいと思うが、教育環境の充実ということを考えると、早く学校を再編する方が良い。
- 早い段階で学校を再編して、人数が多くなった中で競争心を持って教育や運動をしていく方が、子どもたちの将来にとって良いことだと思う。
- 地域の方々は自分の出身校がなくなるという気持ちがあるが、一番大事なのは子どもたちのことを考えることだと思う。
- 再編後の学校施設の活用については、学校がなくなったから地域がすたれるというのではなく、地域の方の意見を聞き、地域の方が活動できる新しい場所として、例えば、今まで行ってきた地域密着型の行事を継続したり、市外からも参加してもらえるようなイベントを行うなど、子どもたちにとっても新しい教育の場になるようにしてほしい。

### 4小学校区全てを対象とした説明会

- 川田西小学校の保護者の方々は、早く学校再編を進めてほしいという形でまとまっているので、保護者から学校再編を早く進めてほしいという要望書のようなものを提出すれば、学校再編は早く進むのか。また、他の学校の保護者からも要望書のようなものを提出してはどうかということを知っている。

## 地域住民説明会での主なご意見・ご質問

### 川田小学校区を対象とした説明会

- 川田地区の3小学校と種野小学校では、川田小学校の児童数が一番多いので、川田小学校の場所に再編してほしいという意見はなかったのか。
- 通学距離が遠くなるため、小学校1年生から3年生は現在の学校に通学し、4年生から新しい学校へ通学するような分校方式は考えられないのか。
- 校区が広くなると危険箇所が増えるため、警察との連携や交通巡視員の配置など、子どもの安全面について、特に力を入れてほしい。
- 四つの小学校が統合すると、教職員の数がかなり減ると思うが、そのようなことも狙っているのか。
- 山川・美郷で小学校を1校にすることは、検討したことがあるのか。

### 川田中小学校区を対象とした説明会

- 学校名を「川田中小学校」のまま残してほしい。
- 地域の者として、新しい校区に応じた組織づくりを考えていかなければいけない。
- 説明会に参加していない人は学校再編に賛成だと思う。反対なら説明会に参加して発言しなければいけない。陰で反対しても通らない。
- 複式学級を解消するために教頭先生に学級の担任をしてもらっている状況では、学校へ相談に行っても授業をしているために会うことができないなど、教頭先生が担うべき本来の業務に影響が出ている。
- 子どもたちには、少しでも早く、大人数の中でいろいろなことを学び、考えながら、多くの選択肢を与えてもらえる環境の中で育ててほしい。
- 統合後の学校の跡地活用について、地元の人々の意見を聞きながら、しかし、世代によって考え方も違うので、いろいろな人の意見を聞きながら、活用方法を決めてほしい。

### 川田西小学校区を対象とした説明会

- 限界集落でもないのに学校がなくなるのはおかしい。行政が若者に住んでもらえるような魅力あるまちづくりをすれば人口は増えるはずである。行政が考えられないのであれば、我々が提案する。
- 川田西小学校を残してほしいという気持ちはあるが、今後の児童数を考えると再編することに賛成である。川田西小学校の跡地活用については、幼保再編施設として活用してほしい。

### 種野小学校区を対象とした説明会

- 人口増の施策に取り組んでいると思うが、もう少し思い切った施策を学校再編と並行して取り組んでいただきたい。
- 新しく学校を建てるということだが、その計画に子どもや保護者、地域の意見を取り入れてくれるのか。
- 新しい学校を作るのであれば、何か目玉となるものを取り入れ、他の地域から見ても魅力のあるものにして、他の地域からも子どもが来るような学校にしてほしい。

## 説明会でいただいた主なご質問に対する市教委の考え方

**Q** 学校名や制服はどのように決めるのか。在校生の制服などの購入費補助はあるのか。スクールバスの運行はどのようになるのか。

A 学校名、校歌、校章、制服（学校指定用品など）、スクールバス（運行ルート、乗降場所、便数、運行時刻など）、通学路、PTA組織などについては、再編に着手することが決定してから、再編準備委員会のような組織を立ち上げ、保護者や地域の皆様、教職員などにも参画いただき、ご意見をお聞きしながら決めていきたいと考えています。現時点では具体的なことは何も決まっていません。また、再編準備委員会と新築する学校の基本設計の期間を重ねることによって、校舎などに対する要望をお聞きすることができると考えています。

**Q** 4学級に該当する児童数になった場合にはどのようになるのか。

A 小学校・中学校の教員は県の基準によって配置されます。5学級の場合は、教頭先生が学級を担任することにより複式学級を解消することができます。4学級の場合は、複式解消加配という県の制度があり、先生が一人配置されますので、その先生と教頭先生が学級を担任することにより複式学級を解消することができます。

**Q** 四つの小学校が統合すると教員数はどのようになるのか。

A 教員が配置される定数は学級数によって定められていますので、複式学級になる規模になると教頭先生が学級を担任しなければいけない人数しか配置されませんが、1校当たりの学級数が増えることによって、校長先生、教頭先生、学級担任以外の先生がプラスして配置される可能性があります。4校が1校に再編されると全体の教員数は減りますが、1校当たりの教員数は増えることとなります。市教委としては、一つの学校にどれだけの教員を配置できるのかが大事だと考えています。